

診断士たちと「人間の仕事」

武石 昭一郎

業界経験は十数年。建設コンサルタントに在籍して、コンクリートに係わってきた。これまで個人では、コンクリート材料の骨材を得意分野として、破碎試験などを主体に取り組んできたが、道標となる上司・同僚たちは保守管理にも精通しており、依頼によって全国を駆け巡っている。そして、私もその一員となるべく、診断士の取得を目標とした。

コンクリート全般の業務に携わる我が社の主要は、調査・診断である。これまで、海洋構造物の塩化物イオン含有量、一般住宅基礎・マンションのひび割れ、高速道路、水路トンネル、地下鉄、污水ポンプ場、原子力発電所、そして、ダムなど。様々なコンクリート構造物と多岐にわたる変状に接した。これらの経験が私を診断士に導いてくれたものと感謝している。

私は、調査に赴き、適切な維持管理を考える一方、施工時の様子を想像し、工事記録などから伺える当時の困難さを推測する。そして、構造物から「人間の仕事」の凄さを教わる。これからは「人間の仕事」に触れながら、微力ではあるが尽くしていきたい。

たけいし・しょういちろう／

(株)シーテック

